

鬼怒川&小貝川イベントガイド

Yio

WINTER
vol.11

● 冬だ、元気だ、凧合戦!

- 総力イベントガイド・冬
- 大好き! 鬼怒川・小貝川

>> 初めに夢ありき

- ちょい旅・

>> 宇都宮餃子ものかた

- 沿川施設ナビ

>> 上河内町の温泉スタンド

>> 富士神社・富士塚

- インフォメーション

「土曜の日」記事イベント情報を盛り込んだ表紙を掲載

- リーオ写真館

- リアクト



冬だ、元気だ、凧合戦!

明治時代の子どもの凧揚げの歌にこんながあります。

天狗さん 風おくれ 鰯の頭を三つやろ

そう、風がないと凧は飛ばないですからねえ。でも、なぜイワシの頭なんですかね。イワシの頭って「つまらないものの代名詞」なんですけどね。これは要するに天狗さんからかっているんでしょうか。それはともかく、さあ、楽しい凧揚げ大会が開かれますよ〜。

凧揚げて真澄の空に我凧と

みたいな一句も浮かんできました。みんなで冬の川、冬の空を感じましょう。



にのみやたこあげ大会

map 4

1月16日(日) 二宮町 鬼怒さくら公園

アクセス: 国道4号バイパス薬師寺交差点を東へ、砂ヶ原橋を渡ってすぐ

もっと上がれ〜つ、
ボクの凧

おもしろ〜つ

青空〜つ、
まぶしいもん



新春小貝川たこあげ大会

map 5

1月30日(日) 伊奈町 二三成橋グラウンド

アクセス: 国道6号酒詰交差点から北へ3km、小貝川二三成橋の伊奈町側河川敷

総力イベントガイドも
見てね!!



飛びます。
飛びます。

飛び疲れです



工夫しましたよ。
いろいろ

行くもん!

つきました!

キャ〜ツ

みんなでソリすべりをしようよ

必要なのは堤防の斜面とソリと勇気だけ。行きますよ〜つて。滑りますよ〜つて。見てたら、よそのお父さんも※昔取った杵柄で、「ワシらも行くけんね!」と積極参加するのですた。

※昔取った杵柄…かつて習得していた腕前に自信のあること

ワシらも行くけんね!

総力 イベント 冬 GUIDE

光輝く氷のぼんぼりと かまくら祭

1月27日から2月28日まで
栗山村
栗山村湯西川温泉

数多く並ぶかまくら。その中でバーベキューを楽しむ人々、ふるまわれる甘酒の温かさに思わず頬をゆるませる人々。日曜・祝祭日には正午近くに餅つきも…。こうして昼間は賑やかな会場ですが、氷のぼんぼりに灯がともされると、かまくらが夜の闇に浮かび上がり幻想的な光景が広がります。

お問い合わせ
栗山村観光協会 0288(97)1126

アクセス
電車：会津鬼怒川線湯西川温泉駅より東武ダイヤルバスで約35分「湯西川温泉」下車
車：日光宇都宮道路今市ICより国道121号・県道249号経由で約60分



鬼怒川ます釣り大会

3月予定
真岡市
鬼怒川ふれあいビーチ

中学生・子どもグループと大人グループによるマス釣り大会の後に、マスつかみ取り大会を行う催し。今回は釣り竿に鬼怒川河川内に自生する竹を用意、小学生向けの「釣り仕掛け講習会」も同時開催されます。魚や川の自然に親しむ絶好の機会です。行ってみましょう。



お問い合わせ
瑞穂野鬼怒川愛護会 028(656)6613

アクセス
JR宇都宮駅より、東野バス「真岡行き」にて「石井局前」下車



梅まつり

3月中旬
市貝町
市貝町壩・観音山梅の里梅園

約4haの敷地に5種類、約3,000本の梅の花が咲き、かくわしい香りあふりに漂います。遊歩道や駐車場も完備され、花見には、もってこいのところ。花の見頃は「観音山梅の里梅園梅まつり」も開催されます。地元村上・駒込地区の住民たちによる手作りのイベントです。

お問い合わせ
市貝町 都市商工課 0285(68)1118

アクセス
電車：真岡鐵道市貝駅より徒歩20分
JR宇都宮駅よりJRバス茂木行きで「芳賀地蔵橋」下車 徒歩10分
車：北関東自動車道宇都宮上三川ICより約40分



イベントインデックス

- 1/16日 **にのみやたこあげ大会** map 4
鬼怒さくら公園
二宮町 公民館 0285(74)0107
- 1/30日 **新春小貝川たこあげ大会** map 5
二三成橋グラウンド
伊奈町 観光協会 0297(58)2111
- 1月・2月 **河川愛護標語表彰** 1月下旬表彰 2月広報誌発表 map 6
市内各小中学校
宇都宮市 河川課 028(632)2689
- 2月 **うしくゴッ多市** map 7
牛久市栄町広場
牛久市 商工振興課 029(873)2111
- 2月下旬 **草取り交流会** map 8
大形橋上流
花と一万人の会事務局・千代川村 0296(44)0171
- 3/6日 **氏家町駅伝大会** map 9
鬼怒川河川公園
氏家町 生涯学習課スポーツ振興室 028(682)8888



藤代町 小貝川河川敷にいるポニーと…

初めに夢ありき

財団法人ハーモニセンター理事長 大野重男氏



アダプトプログラムの看板



子どもの水辺 藤代町総合公園



小貝川の川と陸と空を使って乗馬などの体験活動を行う「ふじしろ三次元プロジェクト」。その中心になるのが「NPO小貝川プロジェクト21」の方々です。このプロジェクトに最初から関わり、主にポニー牧場の活動を統括するほか、さまざまなサポートをする財団法人ハーモニセンター理事長・大野重男さんに藤代町の小貝川生き生きクラブでお話をうかがいました。理事長という肩書きが似合わない、気さくな大野さんは行動力の人。夢を実現する力と不思議な魅力を持った方でした。

とことん子どもとつきあう

今の子どもの閉塞感(へいさくかん)は凄まじいものがありますね。それが外へ向くと暴力になったり、内に向くと自分を傷つけたりしてしまう。思うに、子どもと「とことんつきあってくれる大人」が家庭でも学校でも地域でも少なくなったからじゃないですか。教育力が衰えてるんですよ。

それと子どもたちも忙しすぎるのね。好きでもない習い事させられたりね。我々のところに来ると子どもの顔がパッと変わるからわかりますよ。来たら楽しくて帰たくないなんて言いますよ。そういう子どもたちの「せつない思い」に「(おんが)に答えるのがいい大人だ」と思うんですよ。

自分が世の中で生きる意味というのは他の人との関わりの中でわかる。子どものとき、そういう自分の思いを受け止めてくれる大人が周りにいないと子どもは生きる力が衰えてしまう。

ボクは北海道の池田町というところに高校までいたんですけど、幸せな子ども時代を過ごせたんですよ。とことん遊んでくれる先輩もいたし、中学の先生だっていつ行ってもいやな顔をされたことがなかった。後から聞いたら結構くたびれたっておっしゃってましたけどね(笑)。親も周りの大人たちも「人に喜んでもらえるような生き方をしろ」って教えてくれました。そういう大人たちからももらったものを今度は自分が子どもたちにあげようと思って。「自分の番だ」と…

だから高校、大学のときから仲間と「子ども会」みたいな活動をして問題のある地区にも行きましたよ。

大学を卒業して仕事をしていたときも働く若い人たちの仲間づくりに取り組みました。1970年頃かな。その中で「外国へ行ってみたい。でも、言葉もできないしお金もないし…」と言う子が大勢いたんですけど、航空会社に「若い力をつないで大きな夢を育てよう」という話を持ち込んだら飛行機がチャーターできてね。往復は飛行機でいっしょ、向こうでは一人ぼっちという企画です。それを何回かするうちにイギリス・ウェールズ地方のカーディフに行ったんですよ。もちろんボクも1人です。

そしたら、子どもが馬に乗ってる。それがすごく風景として良くて、日本の子どもたちのそういう姿を見たいと思ったのが馬、ポニーとの出会いです。向こうでは誕生日にポニーを買って



くれるというのですけど日本ではなかなかね。それで、町田市に1973年にポニークラブをつくったんですよ。これも前例なしですよ。電話帳で「馬」と名のつくところを全部調べるところから始めてね。

モンゴルでの乗馬体験ツアーもやりましたね。向こうの人だとバスやホテルの手配が今一つ。それで、自分たちで旅行会社をつくったんです。その収益を使って向こうの子どもたちのために識字教育(しじじょう)をやって、学校までつくった。それが今大学になってますよ。



1～3 写真提供: NPO小貝川プロジェクト21

川との出会い

川との出会い? 1997年に河川法が変わったでしょ。それまで治水・利水だけだったのが環境が加わった。「川は汚れてる。川は危ない」と言っていたのが変わってきた。そのとき下館の事務所長の吉川さん(吉川勝秀氏。現慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)に誘われて小貝川に行ってみてね。そこで、真岡の元の市長の菊池さんにお会いしたのが大きかったですね。

菊池さんは「川には子どものとき学んでおかねばならないことのすべてがある」っておっしゃってね。つまり、空がある。広い河原がある。生き物がいる。友だちといっしょに行く。遊ぶ。危ないことから身を守る術を学ぶ…みたいなことね。こういう話をうかがってね。ポニー牧場をここ(藤代町)につくって、小貝川での「ふじしろ三次元プロジェクト(平成11年スタート)」、つまり川と陸と空を使って子どもたちと関わっていこうという、それに参加したんですよ。

ところが、「予算がない」とか話をする度にマイナス点を数え上げるようなことになってくる。そこで言ったんですよ。

「初めに予算ありきではなくて、初めに夢ありきではないですか。物がなければ持ち寄るところから始めませんか」



藤代町 小貝川生き生きクラブ

そう言ったら動き始めましたよ。いろいろな人が。ボクらは何をしたかといえば、今は草原ですけど、この場所(河川敷)は初めはブッシュで川が見えなかった。ゴミも何トン分もあった。そこで草を刈り、ゴミを片づけて今の姿にしたんです。そこでウチの牧場でポニーに乗る。水遊びをしたり、Eボートをやる。まあ、期間限定だけどツリーハウスもつくる。マウンテンバイクに乗る、というふういろいろな活動を子どもたちがしています。

「小貝川生き生きクラブ」もある。ここは本来、高齢福祉施設なんですけど、子どもたちも学校帰りに立ち寄ります。高橋さん(NPO小貝川プロジェクト21事務局・高橋晃雄さん)を始めいろいろな人が楽しく活動に取り組んでいますからいいですよ。何がいいって「拠点」だからです。一過性のイベントじゃなくて「常設化」が大事なんです。川とのつきあい方が豊かになりますからね。ということでボクの話はおしまい。じゃね。

一気に話を終えた大野さんは子どもたちと遊び始めました。



4 総合学習支援



5 マウンテンバイク教室

ちよい旅 宇都宮餃子ものがたり

水餃子・焼餃子・揚げ餃子
どれもおいしすぎ



宇都宮というと「イコール餃子」と反応してしまふのはなぜ？ おなじみ「リーオちよい旅隊」出動です。

宇都宮には戦前、陸軍第十四師団があり、満州(現在の中国東北部)に駐屯した兵の間で餃子が話題になったそうです。そして、復員した兵とその家族の間で「餃子を食いたい」という希望が高まった昭和28年(1953)頃、石井フクさんが宇都宮の大銀杏(天然記念物)の下で屋台を始めたのが餃子が広まるきっかけだったそうです。

ただ、市内から全国にまで広まるには仕掛け人グループがいました。そのメンバーの一人、宇都宮市役所の塚田哲夫さんを訪ねました。

平成2年(1990)、中堅職員各グループ(5人1組)が政策形成研修に取り組みました。塚田さんとそのグループは市の名前を全国に広めるテーマとして餃子を選びました。『家計調査年報』(総理府統計局・当時)で餃子の年間購入額が全国一(県庁所在都市別1世帯あたり)と知ったからです。

ちなみに、宇都宮は調査の始まった昭和62年(1987)から平成15年(2003)までずっと1位です。ただし、平成7年だけは1位の座を静岡に明け渡しましたが…。また、最近では京都が2年続けて2位になるなど「古都侮り難し」という状況です。

話を元に戻すと、平成2年塚田さんたちはテーマを具体化するため市内オリオン通りで市民200人にアンケートを行い、「餃子といえば宮餃子」という冊子にまとめました。資料・分析に加え、視察・広報活動計画も挙げたスグレものです。

「この冊子による報告が終わったときは、やっと終わってホッとしたくらいの感じだったんですけど、まさかここまで有名になるとは…」

塚田さんは振り返ります。その後、テレビ等での紹介、餃子マップの作成など市を挙げてのPR活動を行った結果、宇都宮餃子の名は全国区になったのです。

各店舗の努力も見逃せません。宇都宮餃子会会長・伊藤信夫さんらは各機関と協力して「餃子まつり」を催したり、都内の餃子スタジアムに店舗を出店するなど、懸命な努力を続けています。

平成15年(2003)、宇都宮餃子認知度85.3%。



餃子像



塚田さんたちの成果「餃子といえは宮餃子」



塚田哲夫さん(市役所に)



大銀杏の下で屋台の餃子が



伊藤さんの妻・知子さんのご家族は中国北京から引き揚げてきた。華北交通に勤めていたお父さんやご家族は北京での餃子の味が忘れられずに開店に踏み切り、伊藤さんが加わって餃子専門店として成功させた。

宇都宮餃子会会長の伊藤さん



川に沿って行きたくて、出かけたから見つかったって！
鬼怒川や小貝川流域の楽しい施設、
ためになる施設を紹介します。

上河内町の温泉スタンド

所在地 栃木県河内郡上河内町大字今里18-4

map 10



「うー。寒い。あったまりたいなあ。
というとポカポカお風呂。それが温泉
だったなあ…」

そしたら良いものがあつたじゃない
ですか。上河内町の温泉スタンドです。

泉質はアルカリ性低張性高温泉、個人でも業務用にも使えるそうです。

役場から北東へ300m、宇都宮インターから10分ということで手軽かも。隣には「上河内町地域交
流館・ほたるの里・梵天の湯（せんてんのみ）」もあるので併せて利用したいですね。



問い合わせ先：上河内町地域交流館 TEL.028-674-8963

富士神社・富士塚

所在地 茨城県龍ヶ崎市八代町2047-1

map 11



富士塚とは、江戸時代に流行
った富士山信仰「富士講」の
象徴的存在。すべての人が
富士山に登れるようにと、
江戸を中心に各地に造られ
たもの。土を盛って溶岩を据え

たりします。言ってみればミニ富士
山です。ここ龍ヶ崎市八代の富士神社に
も富士塚があります。高さは34.8メー
トルほど。山頂に据えた直径20メー
トルの火口が見事です。昔は女人禁
制の山というのは多かったのですが、
富士講では女性の参加も勧めていた
ということで、富士塚にも自由に登
っていたようです。

問い合わせ先：龍ヶ崎市役所 TEL.0297-64-1111

「土木の日」記念イベント 川を想い 川を奏でる 開催!



2004.11.18 in 栃木県野木町文化会館エニスホール

- リオちゃん 土木の日って、どうして11月18日なの?
 バ バ 11と18を漢数字で書いてごらんよ
 リオちゃん 十一と十八、あつ、これを…
 バ バ 組み合わせて「土木」ってわけ
 リオちゃん さすがパパ。よく知ってるね
 バ バ いやあ、それほどでも…
 マ マ こないだガッツさんが出たイベント観たからでしょ(笑)
 バ バ あ、余計なことを…
 リオちゃん ガッツさんが「オーケー牧場」の?
 バ バ そうなんだよ。土木の日のイベントでね…



みたいな会話が栃木県野木町周辺で交わされていたかもしれません。「土木の日 記念イベント・川を想い 川を奏でる」がエニスホールで開催されたからです。第1部は、元ボクサーでタレントのガッツ石松さんのトークショー。第2部は、映像と音楽のコラボレーション 交響詩「利根川322」というユニークな組み合わせに入場者は、聞きいったり、聴きほれたり…。楽しい時間を過ごしました。

第1部 ガッツ石松さんのトークショー

ガッツさんには「自然の恵みと私～川から得たもの・学んだこと～」というテーマで話していただくはずでしたが、「川のことは今日多くの専門家が来てらっしゃるんでそちらにお任せして…」と、いきなり面舵いっぱいに方向を変え、話されたのは「粗にして野だが卑ではない」という言葉を引いて自らの生き方を示すことでした。

この言葉は元国鉄総裁の石田礼助の生き様を記した城山三郎の小説のタイトルで、「言葉や態度は乱暴に見えるかもしれないが、気高い心は持ち併せている」という意味です。

「ボクシングに出会って人生観が※380度変わった」的な「ガッツ伝説」が一人歩きしているために見落としがちな、真摯な一面をガッツさんは見せてくれました。

ボクサーと知っていてカランでくる輩(やから)に対してグッとこらえた話など、まさに川の流れるごときガッツさんの人生…。心にしました。



※一般には180度といえます

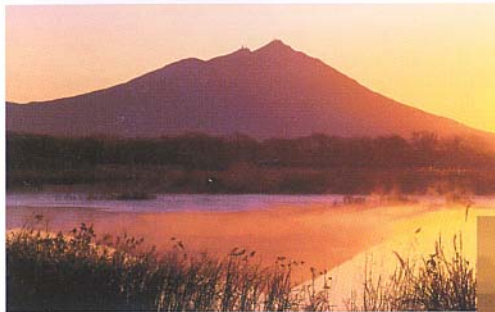
ガッツさんは栃木県上野原郡栗野町出身

第二部 交響詩「利根川322」



美しい川辺の風景が映し出される中で響き渡る水の調べ…。上流から下流、そして太平洋まで322kmを流れ下る大河・利根川の物語が繰り広げられます。この交響詩の作詩・作曲にあられたのはオペラやオバレッタ作品を手がけて数々の賞を受賞されている仙道作三さんです。

その仙道さんが自らタクトを振ることで、ヴァイオリンの佐藤久成さん、エレクトーンの西岡奈津子さん、パーカッションの仙道さおりさん、ボーカルの北村さおりさんら高い技術と豊かな感性を併せ持つメンバーから得られる言われぬ音色を引き出していき、聴衆を川の旅にいざなっていました。



遊水地の朝(下館市母子島遊水地)



川面厳冬(下館市小貝川)

第1回 冬はつとめて

「冬はつとめて(早朝)がいいわ。雪が降ってるのはもちろん、霜なんかくごく白くて、そうじゃなくてもすごく寒いときに火とか急いでおこして炭火を持って廊下を通ったりすると、いかにも冬気分を感じ…」
誰ですか、あなたは。清少納言? 『枕草紙』の…。ヘー、お見それしました。いやあ、私なんか寒がりだね、とても炭火じゃいけません。ヒーターガンガンですよ。そのくせにアイス食べたりなんかして…。
そこへ行くと清水さんはカメラを持って、寒いときに出かけて…。だ

からこそ、きれいな写真が撮れるんでしょうね。私みたいな寒がりは一生涯無理ですな。えっ、「絶対無理に決まってるわ」って、ナゴンさん、文章通り性格きついや。(文責:寒がりおじさん)

皆さんからのお便りでつくるコーナー

リアクト

●茨城県つくば市の K.Jさん (48)

新しくなった谷和原大橋を船上から見上げてみたい。船から撮影してくれるとうれしい。

●茨城県水海道市の K.Tさん (72)

鬼怒川・小貝川は農家にとって大切な水の川です。

●茨城県取手市の C.Tさん (36)

自宅近く、最下流の小貝川、仕事で下妻あたり的小貝川も見ます。川を見るとなごみますが、台風などでの増水は恐いですね。

●茨城県結城市の S.Tちゃん (12)

鬼怒川の近くに住んでいます。今年(平成16年)は台風が多かったので水が増えてこわかったです。

●栃木県小山市の Y.Sさん (29)

秋号の特集「バレットを持っていきませんか」。かなり上手ですね。私も描くのですが、なかなかうまくいきません。コツを教えてください。

●茨城県結城市の H.Fさん (34)

河岸跡を紹介していただけませんか。

●栃木県宇都宮市の K.Sさん (64)

秋号のちよい旅「小貝川の源流の旅」。幼き頃遊んだところで懐かしくて。もう一度遊んでみたいです。



皆さんの声を聞かせてください!

リーオでは皆さんのおたよりをお待ちしています。川のこと、街のこと、人のこと、伝統の催しのこと、河川事業に関することなど、どしどしお寄せください。



イチ押し写真を募集しています。

リーオは皆さんのイチ押し写真(これだ!というもの)を募集しています。鬼怒川や小貝川流域の風景やお祭り、伝統工芸のほか、過去の災害写真など、たくさんお寄せください。写真をお寄せいただいた方には粗品を差し上げます。



ページも増え、充実&超大作(自分で言っちゃダメですね)になったリーオ。嗚呼…そこで、短歌をば。

行く水に 数書くよりも はかなきは 思はぬ人を 思うなりけり(古今集詠み人知らず)

「川の流れに数を書いてみるより儂いのは片思いでしょ」という意味。

でも、恋すると人は誰でも詩人になるなんていいですから(照れる…)、老いも若さも恋しまじょうか。次は春にお会いします。恋する人の季節です。



第11号 WINTER

編集・発行:「鬼怒川・小貝川サミット会議」事務局・国土交通省 下館河川事務所

※rio[リーオ]とはスペイン語で「川」という意味です。

〒308-0841 茨城県下館市二木成1753 ☎0296-25-2171(調査課)

★「リーオ」はインターネットホームページでもご覧いただけます。

下館河川事務所HP ▶ <http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>
E-mail ▶ shimodate@ktr.mlit.go.jp

●このパンフレットは再生紙を使用しています。